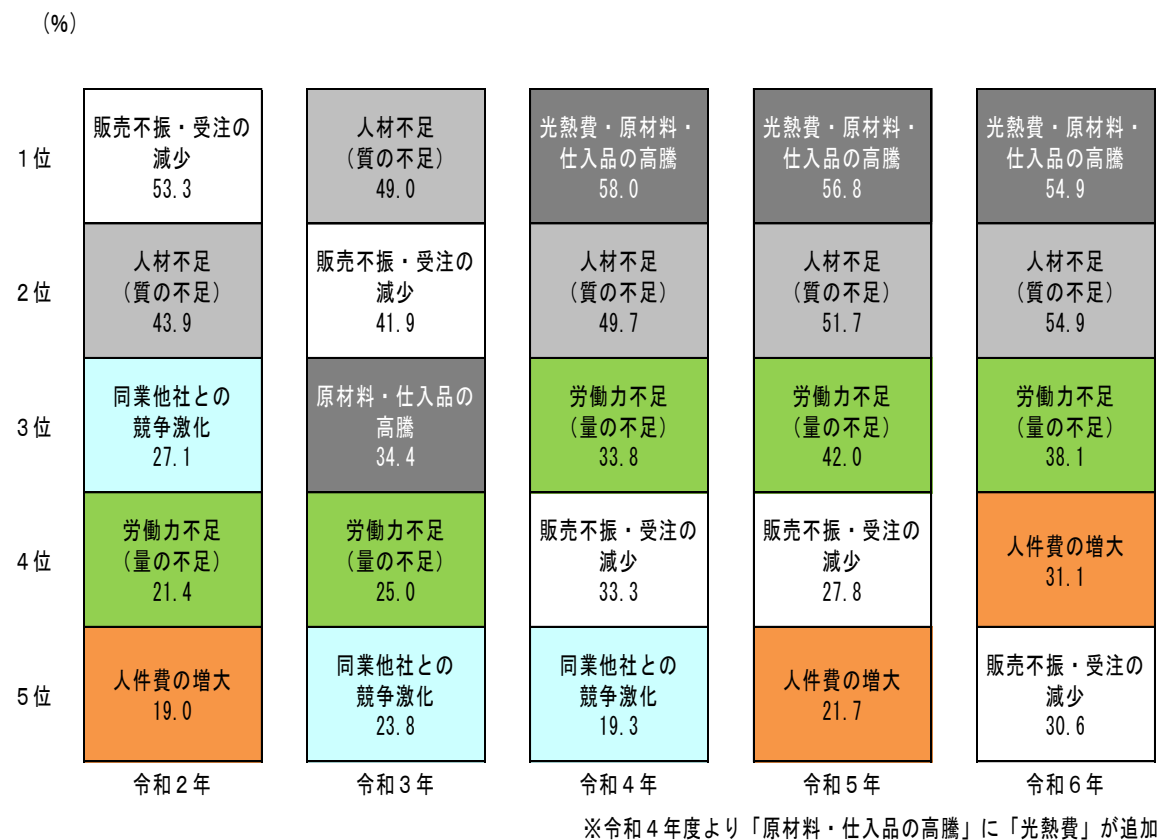


5. 経営上の障害

経営上の障害について、全産業の過去5年間推移をみると、「光熱費・原材料・仕入品の高騰」、「人材不足（質の不足）」が同率54.9%で第1位となり、「労働力不足（量の不足）」が38.1%で第3位となっている。

以下、「人件費の増大」が31.1%、「販売不振・受注の減少」が30.6%と続く結果となっている。

第8図表 経営上の障害（複数回答、上位比率5項目：全産業）



また、経営上の障害について、業種別にみると、製造業計では「光熱費・原材料・仕入品の高騰」が66.0%、「人材不足（質の不足）」が50.2%、「販売不振・受注の減少」が37.8%と続くのに対し、非製造業計では「人材不足（質の不足）」が59.6%、「労働力不足（量の不足）」、「光熱費・原材料・仕入品の高騰」が同率で43.3%と続く結果となっている。

第9図表 経営上の障害（複数回答、業種別）

